

NDB データを用いた主傷病別の医療需要の分析

協力研究者 佐藤 拓也¹, 研究分担者 西岡 祐一²,
研究代表者 今村 知明², 研究分担者 野田 龍也²,

1. 東京大学医学部附属病院
2. 奈良県立医科大学 公衆衛生学講座

研究要旨

本研究では、入院・入院外の医療需要を体系的に把握し、今後の医療提供体制の将来像を検討するために、NDB データを用いた主傷病別の医療需要の分析を行った。

方法として、入院医療需要(医科入院、DPC レセプト)と入院外医療需要(医科入院外レセプト)に区分した上で、主傷病別、性別、年齢階級別に、年間日数を集計した。

分析の結果、五疾病でカバーされない疾患の占める割合が大きいことが明らかになった。五疾病が政策医療として重要であることは言うまでもないが、医療需要という観点からは五疾病以外の疾患に対応する医療提供体制の検討も一定の重要性があると考えられる。

A. 研究目的

我が国では、医療のアクセスや質を確保しつつ、持続可能な医療提供体制を確保していくために、医療計画の策定や地域医療構想の推進が進められてきた。

一方、人口減少・高齢化という人口構造の変化への対応や、新型コロナウイルス感染症の感染への対応を踏まえ、第8次医療計画や地域医療構想の推進に向けて、地域における入院・外来・在宅に渡る医療機能の分化・連携の重要性が改めて指摘されている。

本研究では、入院・入院外の医療需要を体系的に把握し、今後の医療提供体制の将来像を検討するために、NDB データを用いて主傷病別の医療需要の分析を行った。

B. 研究方法

対象：

NDB データ(医科入院、DPC、医科入院外)において、2019 年度のレセプトを分析対象とした。

方法：

入院医療需要(医科入院、DPC レセプト)と入院外医療需要(医科入院外レセプト)に区分した上で、主傷病別、性別、年齢階級別に、医療需要(1日当たり日数)を集計した。主傷病は、ICD-10 の中分類を用いて区分した。

C. 研究結果

入院医療需要について、五疾病(がん、脳卒中、心筋梗塞等の心疾患、糖尿病、精神疾患)の占める割合は、全体の34.3%程度であり、精神疾患が

17%程度を占めていた（図1）。

五疾病以外の疾患分類では神経系（G）、損傷（S）、呼吸器系（J）、消化器系（K）、筋骨格系（M）等の疾患の割合が高かった（図2）。

入院外医療需要について、五疾病の占める割合は、全体の11.2%程度であり、精神疾患が9%程度を占めていた（図3）。

五疾病以外の疾患分類では、高血圧疾患（I10-15）や呼吸器系（J）、筋骨格系（M）の疾患の割合が高かった（図4）。

D. 考察

五疾病に対応する疾患の医療需要は、入院医療需要で35%程度、入院外医療需要で10%程度と、五疾病でカバーされない疾患の占める割合が大きいが明らかになった。

五疾病は、患者数や死亡者数が多く国内で広範かつ継続的な医療の提供が必要と認められた疾病として、国民の健康の保持を図るために国が政策として取り組むべきものであるが、地域における入院・外来・在宅に渡る医療機能の分化・連携という視点から、各地域の医療提供体制は、各地域内の医療需要の総量に対応する必要があることを踏まえると、今後、五疾病以外の疾患に対応する医療提供体制の検討も一定の重要性があると考えられる。

本研究の課題としては、1) 脳卒中や心筋梗塞といった疾患内での病態の違いを考慮する必要性（例：脳卒中の急性期とリハビリテーション、慢性期）、2) NDBデータにおける主傷病情報の不確かさ、3) NDBデータに含まれない対象集団の割合が考慮されていない（例：単独公費レセプトで受診する精神疾患入院等）が挙げられる。

E. 結論

本研究の結果、疾患別の医療需要の体系的な分析結果を得ることが出来た。また、総医療需要に占める五疾病以外の疾患の割合の高さが明らかになったことで、医療提供体制の検討においては、

五疾病以外の疾患も一定の重要性があることを指摘出来た。

今後は、より具体的な診療内容に着目した医療需要の分析及び、将来推計を実施することで、患者の性質（疾患や診療内容等）ごとに、人口構造の変化の影響を明らかにし、医療提供体制の将来像の検討を進めていく必要がある。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

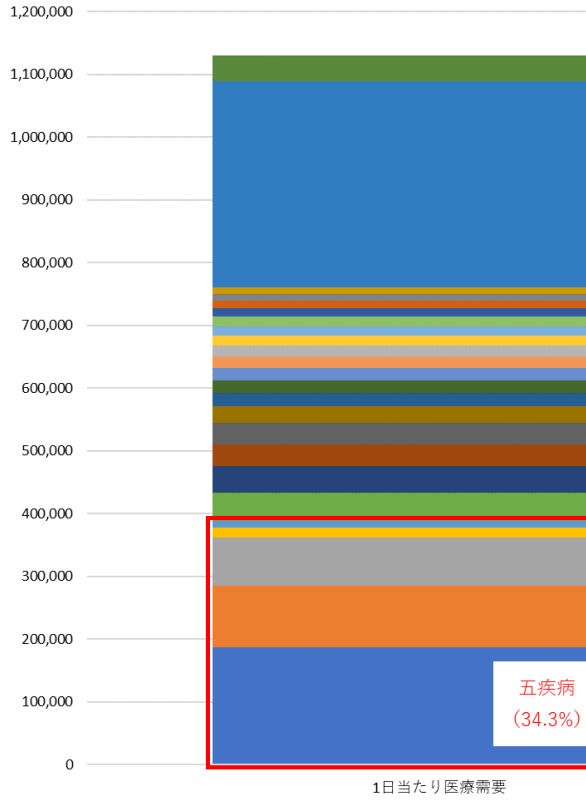


図 1 主傷病別 1 日当たり医療需要 (入院)

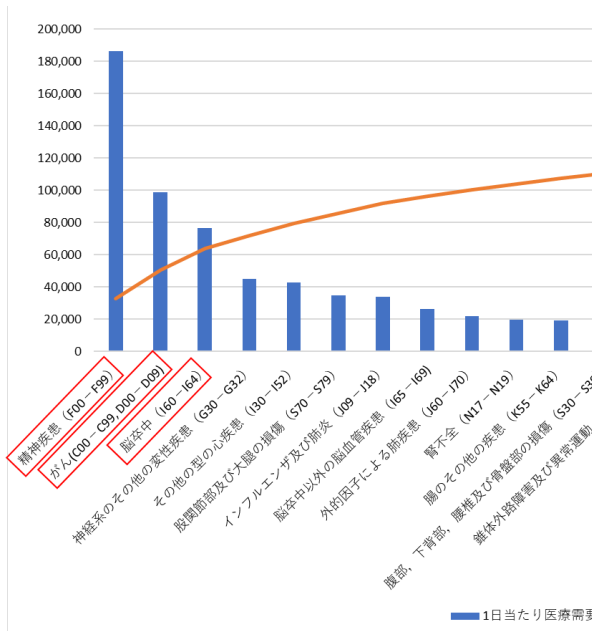


図 2 主傷病別 1 日当たり医療需要 (入院) 累積比

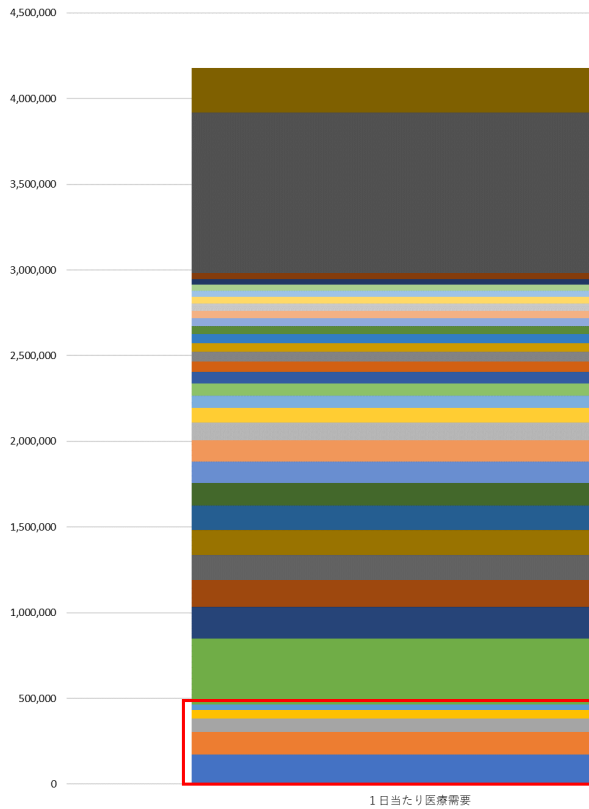


図 2 主傷病別 1日当たり医療需要（入院外）

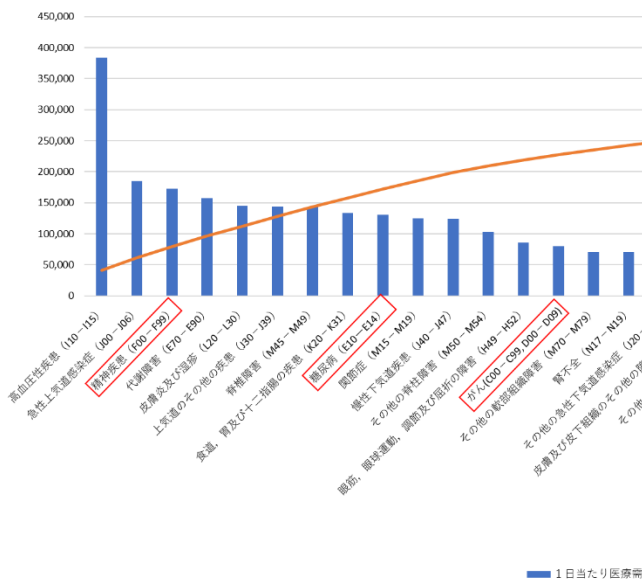


図 3 主傷病別 1日当たり医療需要（入院外） 累積比